

## Q &amp; A

## 「道德教育と道德科とはどのように違うの？」③

モラロジー研究所教育者講師 安達 肇

Q 国語における読解とどのよ  
うに違う？

A 学習指導要領では、国語科の目標は「伝えあう力を高め、国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる」とあります。国語科の読解では作者の意図に基づいて、登場人物の心情・価値観を読み取っていくことが主眼となります。道德科では、登場人物に過去や現在の自分を投影させて、自己の心情や価値観を見つめることが主眼となります。例えば、三十人の児童がいれば三十人の視点があります。それが、物事を多面的・多角的に考えることにつながります。哲学、宗教学、倫理学、道德学、心理学などの心のあり方を扱っている領域では「自己を見つめる」、すなわち

自己省察や自己反省などが大きな主題です。その主題に取り組むために、児童は教室で自己を見つめるのです。そこで、自分とは異なった様々な環境で生活している友達の考えを聞いて自分を見つめるのです。それが、物事を多面的・多角的に考えるということなのです。

Q 道德科の学習過程はどのよ  
うに考えますか？

A ①教材を通して、道德的諸価値について理解することとは、価値の理解、道德的価値のよさ・素晴らしさを知ることです。人間理解、道德的価値の実現の難しさを知ること。他者理解、様々な道德的価値観があることを知ることです。

②さらに様々な環境で生活して

いる友達の考えを聞き、物事を多面的・多角的に考えることです。この①と②の手段を取り入れた学習過程から、③今までの自己の生活や言動を振り返り「自分はどうであったか」と登場人物や他者でなく、自己を見つめることです。すなわち、道德的価値にかかわる自分自身の状況を把握することです。価値の主體的自覚です。

④そして自己の生き方についての考えを深めることです。つまり、さらにより高い道德的価値に気づき、自己の道德的価値を高め、深め、拡げることです。この③と④が道德科の学習の目的です。これらが学習過程に組み込まれます。

Q 皆違って皆いい？

A 答えは一つではないのです。算数の答えは一つ、歴史の真実も一つです。道德科の答えは、自己を見つめて自分が考えたこ

とが答えなのです。だから、道德科では他の教科ではうつつむいて活躍できない子が、目を輝かせて挙手し、意見を言い、役割演技もできるのです。

Q 考え、議論する道德とは？

A 教師が一方的に価値を教え込むのではなく、児童の考えや発言を大事にすることです。児童の多様な価値観を有効に生かして自己を見つめ振り返る授業にすることです。しかし、イベントのように議論の勝ち負けをつけるのではなく児童の互いの気持ちや考えを話し合うことです。考えたり、話し合うという授業はすでに行っていることと思います。ですから、「道德科の目標」を常に心に留めていないと、手段や方法が目的に変化しかねないの  
で留意してほしい  
と思います。

